

令和6年度 第2回福島市廃棄物減量等推進審議会 会議記録書

- 1 日時 令和6年11月28日(木)  
14:00開始～16:00終了 所要時間120分
- 2 場所 福島市役所 庁議室(4階)
- 3 出席者 委員6名、事務局12名、マスコミ8社
- 4 会議録

次長	1 開会
会長	2 あいさつ
事務局	出席状況報告
事務局	3 議題 (1) ごみ減量推進パッケージに関する報告及び意見の聴取 ①市廃棄物処理条例の改正及び事務フロー案 について (資料により説明)
会長	ただいまの事務局の説明に関し、意見・質問等あれば、発言をお願いします。 全てのあらゆるケースがこれで丸く収まるというわけじゃないというふうに思います。ただ、この事務フローをやることによって、結構大きく網がかけられるのかなと思います。 細かいことを言い出すとこういうケースはどうするのか、ああいうケースはどうするのか、いろいろ出てきますし、逆にこの事務フローを逆手にとって考える人は考えるかもしれませんが。 ただ、大きな枠では網をかけられますし、福島市民に対して、非常に啓発することにはなるだろうなと思いますので、そして3段階で実施していくという事ですね。実際に指導する方も、面談される方もなかなかストレスのあるお仕事になると思いますけども。いかがでしょうか。

委員	<p>今の事務フローの中の①の内容で、家庭ごみで「特に悪質度の高いと判断されたごみ」とあるんですが、なかなかこれだって決めることは難しいと思うんですが、1例として悪質性が高いのはどのようなごみでしょうか教えてください。</p>
事務局	<p>まず、後ほどご提案する分別の名称にも関わってくる話ですが、ごみの分別、減量、そしてリサイクルの推進に関しては、資源物をいかに分別して、リサイクルに回していくかということが重要であると考えております。</p> <p>先ほどもご紹介した通り、可燃ごみに、例えば、レトルト食品が入っていたような容器包装プラスチック、シャンプーやボディソープの詰め替え用の容器包装プラスチック、あとはお弁当のプラスチック容器など、洗って分別していただければ資源物に回せるようなものが、現状可燃ごみに多く混じっているケースが見受けられます。</p> <p>また先ほどの画像の通り、ペットボトルなどの資源物も、ラベルが外されずに可燃ごみに混じっているケースがあります。また、加えて紙類も資源としてリサイクルに回っていきますが、それを、可燃ごみとして廃棄されるケースも見受けられます。</p> <p>そういった資源物が、割合を明言するのは避けさせていただきますが、ある程度の量が可燃ごみに混じっているケースが、まずは第一の対象になるかなと考えております。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。</p>
委員	<p>産業廃棄物や事業系ごみというのは、街の中ばかりで出てるわけではないんですよ。私は田舎に住んでおりまして、意外と交通量の多い道路と、私たちの生活する道路があるとすると、ごみ集積所は意外とこの交通量の多いところに置くんですよ、各町内会でね。そうすると、ひどいものになりますと、例えば、この間あったのが塗料の空き缶。一斗缶の空き缶が点々と置いてあるんですよ。ある</p>

	<p>町内会の集積所に3つ置いてあって、次のところに3つあるなどというように、通勤の帰りなのかわからないですが、置いていたりする人がいます。</p> <p>或いは、これはどう考えても、家を壊した廃材だなと思われるものですね、やはり集積所に置かれているんですよ。ごそっとおいてあるんですよ。</p> <p>ただそれを役所は持って行ってくれませんかから、結果的に私たち町内会が金を出して処理するわけですよ。そこで、私たちがどうしたかという、大通りなどの交通量の多いところから、生活道路のところに集積場所を移動したんですよ。そしたらね、そこにはもう、集積所が無いから置けないでしょ。投棄しに来た人が生活道路に入ってくると、意外と、ああいうトラックが入ってきた、などが、人家があるのでわかるでしょ。そのような感じで、自分たちも対応策をとっていますが、やはりね、今回仮にごみ袋に入ってるものを市の方で調査できる形をとれば、やはり、ごみ減量や分別はもっともっと進むんじゃないかなと思っておりますので、この条例はですね、もっと早く出していただければよかったかなと、思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ごみは大きく分けて、一般廃棄物、その中に家庭ごみとあと事業所から出てきてるものと、それから、法律で定められた産業廃棄物というものがあって、今の例えば塗料が入ってる一斗缶も産業廃棄物の可能性が高いので、そういったものは、産廃の不法投棄として市へ相談するというのも、1つの手ですね。</p> <p>それから、そうやって巡回指導がより徹底されるようになれば、ああいう不適切に出す人は、やっぱり人の目が一番怖いでしょうから、少しは良くなるのかなという期待感はもちろんありますね。</p> <p>ごみステーションを内側の生活道路へ移動するという話は、大変参考になりました。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>事務フローの中で、1つのゴミの違反が見つかったら、結局最初の1</p>

<p>会長</p>	<p>週間、次の1週間、その次の1週間で3週間、そしてもう少し経ってということで、結局は1ヶ月後まで放置される、そういうことではないのですか。</p> <p>少しご説明しますと、最初に不法に集積所に置かれますよね。1週間は置かれてしまう。それは間違いないです。その時に1週間残った場合に、開封調査をしますが、市の施設に持って行って開封調査をします。そこから、集積所へは戻さずに市の方で処分しつつ、投棄したのは大体こんな人かなというようなことがそこで分かる可能性があります。それから、また違う機会に、同じ集積所で同じ人が出したと見込まれたら、今度この2列目のフローに移ります。それで勧告になって、また、たまたま同じ人が違反ごみを出したら三列目のフローに移り改善されなければ公表になります。</p>
<p>委員</p>	<p>そういうことでしたか。</p>
<p>会長</p>	<p>いや、今のご指摘は本当で1ヶ月も置いておけるものではないし、やはり1週間でも嫌な場合もありますよね。</p>
<p>委員</p>	<p>そうですね。ちょっと綺麗にしていますね。</p>
<p>会長</p>	<p>地域力のある町会だと、もう1週間置かないで自分たちで汚いから片付けるっていうところも当然あたりします。そうすると、なかなかこう、その人が自発的に持って帰ってくれたのであればいいのですが、地域力でもってカバーすると本人が気づきづらい。でも、地域でカバーすると、地域の方は、いい加減にちゃんとしましょうよ、とは言いづらいんですよね。</p>
<p>委員</p>	<p>ご説明ありがとうございました。条例になって施行していく上で、市の職員の方や、或いは市長が指定したごみ減量推進課の職員などで、追加の仕事が発生すると思うのですが、どれくらい例えば勧告</p>

	<p>が出るか、或いは公表する可能性があるか。或いは、その同一人物の、Aの人が何回も違反を繰り返すと、公表するという話だったと思うのですが、そうではなく外部から持ち込まれると、そもそも誰が出したかっていうのはわからないと思うのですが、それがどれぐらいあるかというような、今後執行していく上での、それぞれの相場感といいますか、どれぐらいの仕事量になるのかという、予備的な検討されてたら教えていただければありがたいです。</p>
事務局	<p>まず母数といたしまして、前回の審議会でもご説明しましたが、今の違反ごみとして認知してる件数が令和5年度で約9,000件です。それがまずは母数になろうかと思っています。そのうち、9,000件すべてを開封調査はできない、そういうつもりは無い、というところですが、その内、対応にあたる職員は現在で合計8名。2名1班の4班体制で毎日福島市内を調査・指導して回っております。その職員が開封調査を担当するようになりますが、1週間当たりで100も200も調査できないと思いますので、そのあたりは実際にやりながら、規模感を確認していきたいなというふうに考えております。</p>
委員	<p>事業系のごみについてなのですが、私の住んでいる地区のちょっと困った状況を聞きました。地区の集積所に、明らかに事業所の、例えば話を聞いた方がおっしゃるには、鶏を解体したものを中身が見えない青いごみ袋に入れて出していると聞きました。集積所が狭いにもかかわらず、一般の方たちと同じところに前日から大量に出しに来て困っているそうです。</p> <p>これからは市が開封調査をし、氏名を公表するという話はしていたので、改善されるのではとちょっと安心しています。今日のお話を聞き吉報だと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。効果に対しての期待は高いですね。一方で事業所の人で、ついうっかりですとか、或いはうちは少しなんですとか言って、よくルールがわからない人もいるので、今回の委員</p>

	<p>のお話にあったケースは悪質だと思いますが、そうではなく、ごみの出し方を理解していない少量の事業者もいる。なので、事業者向けの啓発、啓蒙活動も一緒にやっぱりやっていかないと、すべて事業者の責任にしてしまうことになると思います。啓発の方も進めていただきたいなと思います。</p> <p>ただ、今回お話しいただいたケースは、そうではなく本当に悪質だと思います。</p> <p>そうしましたら、事務局の方からこの事務フローこれでどうだろうかということですけど、まずはこれで進めていただくということでよろしいでしょうか。私たちはそれを支援しますというか、それでいいと思いますという結論したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>次に、②新たなおみ分別区分の名称について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>②新たなおみ分別区分の名称（案）について （資料により説明）</p>
会長	<p>ご意見ご質問お願いします。</p> <p>少し私から補足を入れさせていただきたいです。実は、この会議の前に事前打ち合わせを事務局としているのですが、この資料には結構大きく変わってるところがあって、実は、資料では、資源、可燃、不燃の順で並んでいますが、事前打ち合わせのときには、可燃、不燃、資源の並びだったんです。つまり今まで私たちの中のなんとなくの並びでやってたんですね。これは我々といいますか、事務局は大きく意識を変えてきたなと思います。いい並びかなというふうに思っています。</p> <p>このことについてコメントいただきたいんですけども。よろしいでしょうか。</p>

委員	<p>いずれにしてもね、ごみそのものについて一般の人が燃えるごみ、燃えないごみ、そして資源とこういう分け方をしていたので、とりあえずごみを減らすのには、資源を大切にしていこうっていう発想で、一番最初にごみを見たときに、「資源になる」と、この発想を、ぜひ、市民の皆さんに持っていただきたい。こういう意味でございます。</p>
会長	<p>他いかがでしょうか。</p> <p>他の自治体でも、可燃ごみを燃やすしかないごみとか、割と真面目に訳していて、事務局案は、割と楽しい愉快的なものも入っていて、本当に本気なのかとも思いますが、徳島の例も見て、我々の市はごみの処理量が多いということでもなんか有名になってしまっているの、こういったユニークなもので巻き返すっていうのはありなのかなと。事前打ち合わせのときは、ちょっと大丈夫だろうかと思ったんですけど、やるのであれば他市町村に負けないう、早めに決めてしまったほうがいいと思うので、このスケジュールがいいと思います。</p> <p>特に事務局としては、何が欲しいかという第8案を欲しがっているようには思いますが、ここまで楽しくやっていただいたので、これを全面的にご支援するという事でよろしいでしょうか。</p> <p>事務局さん、お疲れ様でしたありがとうございます。</p> <p>それでは次に、③小型充電式電池の回収開始について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>③小型充電式電池の回収開始について (資料により説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいまのご説明に関しまして、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。</p>

委員	<p>変形や膨張した小型 2 次電池は、ごみ減量推進課やクリーンセンターへということなのですが、このごみ減量推進課というのは本庁にしか無いので、本庁と入れていただいた方が多分市民の方はわかりやすいのかなと思うので入れていただきたいです。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。修正いたします。</p>
会長	<p>他いかがでしょうか。</p> <p>住民の方にとっては、よりごみ処理をできる範囲が広がる。中核市の中でも、全自治体が回収を行ってるようなわけじゃないところ、福島市がですね、割と早めの取り組みでこういうことをしていただけるということで、市民としては、助かるなというところだと思いますので、進めていただければということで、これもよろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>続いて（2）各委員から提案があった議題について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>12 ページにお進みください。</p> <p>（2）各委員から提案の議題についてです。</p> <p>2 題ご提案いただいております。まず①、前回紹介のあったキエー口の普及方法を皆様で考えるのはどうでしょうか。いろいろなイベントに参加し、処理後の過程を見てもらう。モニターを募り実際に使ってもらう、というご提案が 1 つ目。</p> <p>2 つ目。プラスチック一括回収一括処理の話を探掘りたいというような 2 つのご提案をいただいております。</p> <p>関連しまして 13 ページにお進みください。別紙①キエー口の普及に関する福島市のこれまでの取り組みをご紹介します。</p> <p>まずは令和 6 年 3 月 1 日にインスタグラムを開設しキエー口日記を配信しております。これまで 14 件の日記を配信しているところ</p>



です。具体的な中身につきましては、市役所の庁内で、実際に小型のキエー口を使って、様々な生ごみを分解する様子をご紹介しているものです。成功例も失敗例もありまして、記載の一番右側の写真ですが、魚の皮を埋めてみたところ、ごみの端が少し土から飛び出ており、部屋の中はちょっと生臭くなったというような、失敗例もご紹介しています。

その後、令和6年5月5日には、福島駅前を中心に実施した「まちなかこどもの日」に併せキエー口の普及啓発活動を行いました。具体的にはパネル展示に加えアンケート調査を行いまして、回答者のうちキエー口をその時点で知っている人の割合は、回答者123名中13%でした。この認知度からスタートして我々の活動でどのぐらいの知名度が上がったかを、後ほどご紹介しますが、当初は13%でした。

次に、令和6年5月30日ですが、「ごみゼロの日」に合わせて市役所9階でキエー口実演会を行い、参加者15名にお越しいただき、マスコミにも報道していただきました。5月30日から6月30日まで約1ヶ月間、9階の食堂前で展示をしたところです。

次に、令和6年6月には、市政だより6月号でキエー口の特集記事を掲載しました。市政だよりを各家庭に配布後約1週間で、100件ほど電話で問い合わせがあり「特別な土を使うのか」や「どこで買えるんだ」など大きな反響がありました。

キエー口は、普通にどこにでもある土で生ごみの分解が進むことをご説明したところ、市民の方が大変驚かれていたのはとても印象的でした。

次に、令和6年7月5日には、株式会社ダイユーエイト様からお手軽キエー口セットの販売開始にご協力をいただき、店頭で販売開始、そして2分の1の購入費の助成を福島市でも行ったところです。

次に、令和6年7月7日には、テレビ市政だよりにてキエー口の紹介、令和6年7月28日にはこむこむ館で、キエー口講習会を開催しました。動画を市の公式YouTubeで配信しておりますので、ぜひ

ご覧いただければと思いますが、講師にキエー口考案者の松本信夫さんを、神奈川県葉山町からお招きして講演していただきましたのと、市の食品ロス削減アドバイザーである福田かずみ先生から、ちょうど夏休みに入った期間ということで、夏休みの自由研究に使えるように、ペットボトルを活用した生ごみが消える様子を観察できる手法もご紹介いただきました。105名の参加ありました。

次に、令和6年8月29日から9月6日まで、市役所1階ロビーでキエー口の展示を実施。令和6年10月1日には、キエー口の動画を新たに作成し、YouTubeやInstagramで配信しております。

最後、令和6年10月6日、まちなか広場で行いました環境フェスタにて、キエー口の展示・広報を実施し、パネル展示、動画の放映、実際のキエー口の展示、そして、中点2つ目、アンケート調査を行いました。キエー口を知ってる方の割合は、回答者69名でしたが、先ほどご覧いただいた13%から大きく伸びて、47.8%の方が知っているという回答を得たところです。

14ページにお進みください。ご提案のあった、②番の製品プラの関係の実証事業を行いましたので、その速報値をご紹介します。

実施期間は、令和6年11月のうち、毎週火曜日の4週間にわたって実証事業を行いました。実施場所につきましては、市の南部、南向台地区のごみ集積所18ヶ所に排出されたごみを回収して、数量や割合の調査を行いました。南向台地区の対象世帯数については1,181世帯、対象人数については2,812名の方を対象に実証事業を行ったところでございます。

具体的には、通常1つの袋に容器包装プラだけを出しているものに、製品プラも合わせて1つの袋で出してもらい、排出量や製品プラの割合を4週にわたって調査したというものです。

ローマ数字1つ目、11月5日実施分です。回収総量は1,140kgで、そのうちランダムに調査重量として71.7kgを抽出した上で、中点3つ目、製品プラの重量につきましては、そのうち53.5%にあたる38.3キロが確認できました。

また、製品プラの容積・割合ですが、括弧内の比率の34.5%が製品

	<p>プラの割合として確認できたところです。またその下、製品プラの内容では、風呂桶や子どもの玩具類などが確認できました。</p> <p>また、想定はしておりましたけれども一定数不適物も確認できまして、ペットボトルですとか、びん、缶、ゲーム機のコントローラー、これは小型2次電池が内蔵されていますので、先ほどご覧いただいたように、今後は小型家電回収ボックス、オレンジボックスで回収したいと考えておりますが、そういったものも、不適物として混入されていました。</p> <p>その下、ローマ数字Ⅱ、ローマ数字Ⅲは記載の通りですが、1回目11月5日と異なる部分については、回を追うごとに、中点4つめ、製品プラの容積割合が徐々に低くなっているというところも見てとれました。右上、四角囲みをご覧いただきますと、富山市で、以前行った実証実験の結果を参考に載せておりますが、回収物のうち製品プラの割合は約20%から30%という結果だったということです。富山市と比較すると、福島市でも同じような割合で排出されているように速報値を見て感じておりますが、第4週目の回収分も合わせて分析し、本格導入に向けて様々な検討を進めて参りたいと考えております。記載の通り製品プラの割合20%から30%がリサイクルに回るということになりますので、この分が現在不燃ごみとして、破碎して埋め立てている部分から除かれていく。そうなりますと、最終処分場の延命化に繋がるものと考えております。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございました。いや、いい方向に行っているのではないかなというふうに感じます。34.5%から25.5%に変わっていったってことは、皆さんに意識していただければ、だんだん、いい方向に行くのではないかなという思いをして今見ておりました。</p> <p>とにかくそのプラスチック製品が今多すぎて、そこに容器包装の括りと、それから硬いプラスチックや柔らかいプラスチックというも</p>

<p>会長</p>	<p>のがあって、この3種類が、皆さん迷っているところだっているのも、この間の環境フェスタでまた再確認したものですから、福島市は違う、わかりやすくなるかもしれないという、そこでちょっと前振りしたんですけれども、こんなふうにしてやっていただいて、将来どういうふうにやっていくのかを着々と決めていったらいいかなと思います。</p> <p>他いかがでしょうか。</p> <p>自分はちょっと違った視点でちょっと考えてみました。対象人数が2,812名の方がこの事業に参加されて、回収された製品プラは重量ベースで53%、39%、38%ぐらいになっており、福島市民は、今、1kgぐらいごみを毎日1人当たりが出してるというような計算の中で、この地域の人に、福島市民を代表させてはいけませんが、この出された量について、例えば、初日の11月5日の回収量が1,140kgあったわけですが、これで製品プラとして回収できたのが50%、それ以降は30%ですけど、仮に20%、30%ぐらい回収できて、ごみというところから分けることができれば、何gぐらい換算できるのか推計すると、100gぐらいになりそうです。これは結構積極的に真面目にやれば効果は大きいという印象も持ちましたし、富山市がいつやったのか聞き忘れてしまいましたけど、富山市よりもある意味製品プラの割合が高いということは、不適物内容が、福島はこの地域の人の方が少ないということで、よりよく出していただけただんなっていうふうに感じられました。何か福島も、いい風、いい雰囲気になってきたなど、ちょっとひいき目なんですけど思ったりしました。</p> <p>製品プラの実証事業については今後どのように展開されるんですか。これでよかったって終わる感じじゃないと思うんですけど、その辺について何か方向性をお話いただければと思いますけど。</p>
<p>事務局</p>	<p>製品プラのリサイクル化は、リサイクルするための工場に運ばなければいけない。</p>

<p>会長</p>	<p>その工場を福島市が自前で持つのか、もしくは民間の会社に業務委託するのか、いずれかの方法になると思いますが、今回の実証事業を経て、どのぐらいの量が廃棄され、どの程度の工場の規模が必要になるのかを十分検討を重ねて参りたいと考えております。時期は、明言は今のところできませんが、数年のうちには、市民の皆様から排出いただくプラスチックを一括で回収しまして、リサイクルにまわしていきたいと考えております。</p> <p>ありがとうございました。キエー口のことも含めて、この話題について何かご感想やご意見がありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>この南向台地区の協力いただいた世帯の方々、そういう方々にはどの程度の説明をされたのでしょうか。しっかり協力していただいたので、効果があったので、どのような方法で、ご説明されたのかお伺いしたいと思いました。</p>
<p>事務局</p>	<p>全世帯の方にチラシを配布しまして 11 月 5 日から協力いただけるように事前周知いたしました。その前段で、町内会長様始め、衛生担当の方にも事前にご説明した上でご協力をお願いしました。住民説明については、今回は行っておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。チラシだけでこのぐらいの成果が上がるのであれば、やりやすい方向に行くということには、市民の皆さんも、いろいろ賛成なんだなっていう、ちょっと違う方向で安心しました。わかりづらい分別よりわかりやすい分別が、皆様に早く浸透するということがわかってよかったです。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>他いかがでしょうか。そうしましたら、この話題についてはこれでということで、ありがとうございました。事前にこういうメンバーでトピックを提供していただいて。</p> <p>他の皆さんもこの議題に上がってるもの無いもの関係なく、何かト</p>

<p>会長</p>	<p>ピックをお持ちでしたら、委員会の前に事務局に投げてみていただ いて、また私たちの理解を深めていきたいというふうに思いますの でお願いします。</p> <p>続いて（3）学生に対する啓発についてということで、これは私の 方から報告させていただきます。</p> <p>冒頭の挨拶でも言ったのですが、我々は何か活動してみようかとい うことで、まず、会長から活動しないと駄目だよなと思ひまして、 まず自分の福島大学で、学生たちとこういうことをきちんと話して みよう、そういう場を設けてみようと思って実施しました。</p> <p>具体的に何をやったかという、まず学園祭というのがあり、学校 の学生さん、大学生さんと学校の外の一般の方が来てくれるので すが、そこで4、5時間、みんなが通る玄関のところに小さな空間を いただきまして、自分が作った、福島市はごみが多いんだよという グラフだとか、事務局からお借りした、今福島市民はこんな、1キ ロちょっとごみを捨てていてあと200グラム減らさなくちゃいけ ないんだよといった、そんな模擬のごみを2つ並べて持ってもらっ たりとか、そういう展示をしたんですね。</p> <p>それは勝手にできないので、最初にうちの事務局の方にそれをやる と言ったところ、「先生そんなことやっても誰も来ないからやめた ほうがいいよ」と言われまして、その意識はどうなんだと思ひまし た、とにかくやると言ったところ、学園祭なので学生さんが仕切 っているのですが、先生、やるんだったらいい場所をどうぞと言わ れて準備してもらいました。「でも誰も来ないですよ」と学生にも 言われてかなり心折れました。しかし、やってみましたところ、初 日すごく大雨でお客さんが少なかったのですが、午前10時から午 後2時まで4時間いましたが、最初僕が居ると近寄りがたいらしい ので、近寄らないでずっと後ろの方から見てたんです。そして、ひ たすらカウントしてたのですが、4時間のうち、こんなに捨ててい るんだ、このぐらいごみを減さなきゃいけないと、実際に展示を手</p>
-----------	--

に取ってくれた人が 50 人以上いました。それは、私としては結構衝撃的で、「いやいいじゃん！50 人」と思いました。

また、自分の自作のパネルを読んでくれた人は、その倍の 100 人もいました。

また、「福島市廃棄物減量等推進審議会会長来たる」といったキャッチーなコピーをつけたところ、なんと 2 人も来てくれて、私と 20 分ぐらいどうだこうだと話してくれて、初回にしたら良いかなと思いました。これが 11 月 2 日のことでした。

それで、ちょっと気を良くしまして、11 月 20 日に、また、「会長来たる、会長と対話したい人集まれ」というふうにやりましたら、何と 20 名もの学生さんが来てくれて、1 時間あまりワイワイやって、対話なので、一方的に僕がごみ減らせということではなくて、彼らの言いたいことを聞く、と。すると、彼らが一番気にしていたのがごみ有料化でした。それで、「ごみ有料化したってごみなんか減りません」と断言してる人が結構多くて、なぜなのか聞いたら、ある学生が「僕はごみを捨てたくて捨ててるわけじゃない、やむを得なく捨ててるんです。だから、有料化されてもされなくても捨てるごみの量は変わりません。」と言いました。この子は相当いい子だなと思いました。つまり、最初からあまりいらぬものを買ったりとかせず、「ごみを減らせるところは自分で減らしてるんでこれ以上されても何もできないですよ」とそういう意識がある子なのだろうなと思いました。あと、お金の問題については非常に皆さん、大雑把にとらえていて、例えば、「あぶくまクリーンセンターを作るのにどのぐらいかかると思う？」と聞いたら、「8,000 万円？」「3 億円？」など結構金銭感覚が無いなと思ったのですが、いや実は、そんな金額では造れないよという話をしたら、みんな驚いていて、例えばごみの量を 20%減らしたら、ごみ処理の施設が 20%安くなるわけではないけど結構安くなりますよ、何十億円ぐらい。という話をしたら、ちゃんとしないといけないんだなと理解してくれて、非常にやってよかったと思いました。

気持ち的には春夏秋冬など、季節ごとに 1 回こういう対話をして、

	<p>ごみの分別などを意識する大学の学生さんを増やしたいなと思ったのですが、一方で、自分は結構恥ずかしがり屋なのですが、年に2回ぐらいやって、他の機会は市内の他の大学でやってみようかなあと、決意表明だけしておきます。</p> <p>皆様も、それぞれのいろんなお立場があると思うんです。小さなところで言ったら、お父さんお母さんという立場もあれば、大きなところでは、地区のリーダーだったり、団体のリーダーなどいろいろあると思うのですが、その範囲の中で、何かお取り組みいただいて、何か面白いことがあったらお話いただけたらというふうに思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>では、私の話しも含めて、今日ここまでについて、何か全体を通してご意見やご指摘がありましたら、お願いしたいと思いますがいかがでしょうか。今日も結構熱い議論でしたね。</p> <p>無いということで、これにて、議長の任を解かせていただき事務局にお返ししたいと思います。</p>
次長	<p>4 その他</p> <p>会長には座長を務めていただきまして、ありがとうございます。また委員の皆様もご審議をいただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>それでは次第の4 その他でございますが、事務局から何かありますか。</p>
次長	<p>5 閉会</p> <p>無いということで、では以上をもちまして、令和6年度第2回福島市廃棄物減量等推進審議会を終了とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p>以上。</p>